

質問 木村議員（無所属 不破郡）令和8年3月18日（水）

1 りふモーニングプロジェクトの今後の展開について

答弁 知事

現在、県におきましては「りふモーニングプロジェクト」の次なるステージの一環として、県民800名を対象に、1年間にわたり食事の栄養素や歩数などの健康データの収集と、フレイルの評価や行動変容に関するアンケートなどを行います「健康管理モニター事業」、これを実施しておるところでございます。

来年度以降、収集したデータから、モーニングに定期的に通うことがフレイル予防の3要素であります「栄養・身体活動・社会参加」に与える影響、そして高齢者の孤独・孤立防止との関連性、さらには嚥下機能の維持や認知症予防への有用性など、様々な観点で検証を行ってまいります。

また、喫茶店の立地環境や店内の雰囲気などが人の健康やウェルビーイングに与える影響について、連携いたします京都大学において研究を行っていただくこととしております。

これらの研究で得られた結果をもとに、県民一人一人が「かかりつけ喫茶店」というものを持っていただき、栄養のある食事と健康の講座などを享受できる健康づくりの場として、また、安心して居続けられるコミュニティの場として活用していくと同時に、一人暮らしの高齢者の安否確認の拠点としての活用なども検討してまいりたいと考えております。

また、レクリエーションを活用した施策も展開してまいります。具体的には、県レクリエーション協会と連携いたしまして、喫茶店でできるレクリエーションの考案や、将来、福祉分野への就職を検討しておられる福祉系の大学生をはじめ、現役世代のレクリエーションへの参加を促してまいります。

これらに加え、議員ご指摘のとおりレクリエーション団体などの活動へつなげる取組についても促進してまいります。

まずは、県レクリエーション協会と連携し、喫茶店で座ったままできる脳トレミナモ体操などを体験して、レクリエーションへの興味を持っていただく取組を進めます。

実際、先日ですね、県レクリエーション協会の方々が、簡単にできるレクリエーションを実際に喫茶店で実施していただきました。その結果、喫茶店が交流とレク体験の場に適しているという手応えを得られたと伺っております。

加えて、県内各地で多くのレクリエーション種目が体験できる「りふレクリエーションフェスティバル」への参加を、喫茶店を通じて周知し、レクリエーションの楽しさを体験していただくことで、活動団体への関心を持っていただく、そういった取組

も進めてまいります。

さらには、高齢者向けの消費生活出前講座や特殊詐欺防止講座など、身体の健康だけでなく、地域における心のよりどころとしての機能についても、「ぎふモーニングプロジェクト」のコンテンツの一つとして展開できないか検討してまいります。

このような取組を通じまして、全国的に「健康といえば岐阜県」と言われるよう、健康長寿のモデル県を目指して取り組んでまいります。

担 当 課 高齢福祉課

電話番号 058-272-8289

メー ル c11215@pref.gifu.lg.jp